

# 第2学年通信

杉並区立西宮中学校

＜第2学年＞

令和2年5月15日 No.6

担当：大熊



## 臨時休校期間も11週間

11週もの長い臨時休校期間が続いています。新学年になって新たにならなければならないという気持ちに水を差された形になってしまいましたが、日本中、多くの中学生が同じ状況下にあります。この条件の中でどのように自らががんばっていくかが重要な成長のための要件となっていきます。ぼやぼやと、何となく日々を過ごすのか。それとも、自分を律して生活するのか。この休校期間を、是非実のあるものにしてほしいと思っています。

2学年は、“中だるみ”しやすいと言われることがあります。“中だるみ”とは、「張り渡した紐のなかほどがたるむこと」を言います。つまり、中学校生活をスタートさせた1学年の緊張ある生活と、進路に向けて具体的な努力をしなければならない3学年の緊張ある生活との中であって、“ゆるみがち”になりやすいということなのでしょう。しかしよくよく考えてみれば、中学校2年生の生活は、“中だるみ”などしている暇はないほど緊張に満ちたものなのです。

今一度、自己を振り返ってみましょう。1学年のときの自分を。どうでしょう。例えば“自分は、しっかりと自分の向上を目指して生活していた” “自分は西宮中学校の生徒として、矜持（きょうじ）をもって力を尽くした”と胸を張って言えるでしょうか。そういったことを考えて、出来ていなかったとするならば出来るように、出来ていたのであればさらにその上を目指して。そうして過ごして行ってほしいと思うのです。なぜならそのことが、君たちが“これからの自分”を創ることに繋がると思うからです。

良い学びは、良い環境によって達成されます。良い環境は、自ら整える意識がなければ整いません。本校の歴代の生徒が大切にしてきた『自律』の意味はそこにあります。今、君たちに与えられた状況は厳しいです。3月、4月そして5月末まで学校生活が送れません。それは、これからの中学生活で、どのようにすべきなのかを上級生から学ぶ機会を、3カ月も失ってしまったということなのです。1年間の4分の1にあたる長い期間です。9月には、3年生からバトンを引き継ぎ、西宮中学校を引っ張っていかなければならない君たちが、ふさわしい振る舞いとは何かを見せていただく機会が減ってしまったのです。学習の上では、1学年の最後から3カ月にわたって、厳しく自分で自分を律しながら学ばざるを得ませんでした。よってその期間、教えることや、学び合いから身につける学びは行なえませんでした。

こう考えると、さらに“中だるみ”などと言っているわけにはいかなくなります。自分を、自分を成長させるための集団を、より良いものにするために“今”を大事に過ごしてください。

今、西宮中学校の敷地には、色々な動植物が。

スズラン、ツツジ、スミレ、タンポポ、ショウブ、バラ、ナノハナ、ヒナゲシ、スズランスイセン、ボケ、ムラサキツユクサ、キクの仲間たちの花が咲きました。クワ、ウメは実をつけています。スイレン、ササ、ドクダミ、リュウノヒゲ、ホトトギス、シダ、ハギ、カタバミがそれぞれの緑を濃くしています。ナナミノキ、フジ、ピワ、サクラ、キンモクセイ、アジサイ、ヒメリンゴ、メタセコイア、ナンテン、ケヤキ、イチヨウ、サンショウ、ヤマモモも元気です。

テニスコート横の池には、ギンヤンマのヤゴがいることがわかりました。音楽室付近の壁面の、今は使っていない換気口にスズメが巣をかけ、校庭をオオタカも飛んでいます。

西宮中学校は、君たちの登校を楽しみに待っています。



### \*保護者のみなさま\*

再々度の休校措置の延長となり、お子様方の学びは、大変制約の多いものになっている中、保護者の皆様には多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。緊急メール配信やホームページといったメディアを用い、課題等伝えさせていただいておりますが、この状況の中、お子様方は良く努力を重ねていることと思います。新たな年度は厳しいスタートになりましたが、教職員一同気持ちを引き締め、子どもたちの成長に携わってまいろうと思います。また、5月18日（月）には、副教材や新たな課題の配布、また5月7日回収予定であった課題の提出等にご協力いただきます。よろしく願いいたします。

最後になりますが、今後も健康に十分留意していただくとともに、学校教育へのご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。